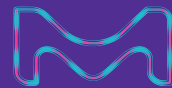


ゴナールエフ®皮下注ペンを使用される患者様へ



THE IMPROVED
GONALEF® PEN

ゴナールエフ® 皮下注ペン 300・450・900 取扱と注射のしかた



注射を行う前に準備するもの

注射を行う前に、ゴナールエフ®皮下注ペン、注射針、消毒用アルコール綿、注射針廃棄容器をあらかじめ清潔な場所に並べておきます。(ゴナールエフ®皮下注ペン、注射針、消毒用アルコール綿、安全な容器(注射針廃棄容器など)が必要です。)

本体(ゴナールエフ®皮下注ペン900)



本体(ゴナールエフ®皮下注ペン450)

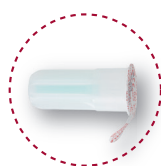


本体(ゴナールエフ®皮下注ペン300)



※ゴナールエフ®皮下注ペンのラベルの色は規格によって違います。

医薬品ペン型
注入器用注射針



(JIS T 3226-2に適合した
A型の注射針)

消毒用アルコール綿



注射針廃棄容器〈例〉



⚠ 医薬品ペン型注入器用注射針は、必ず主治医より処方されたものをお使いください。



ゴナールエフ®皮下注ペンの取扱と注射のしかたを、
動画でご確認いただけます。
左のQRコードでアクセスしてください。

<http://kenkyuukai.jp/merck-fe/gf/howto.asp>

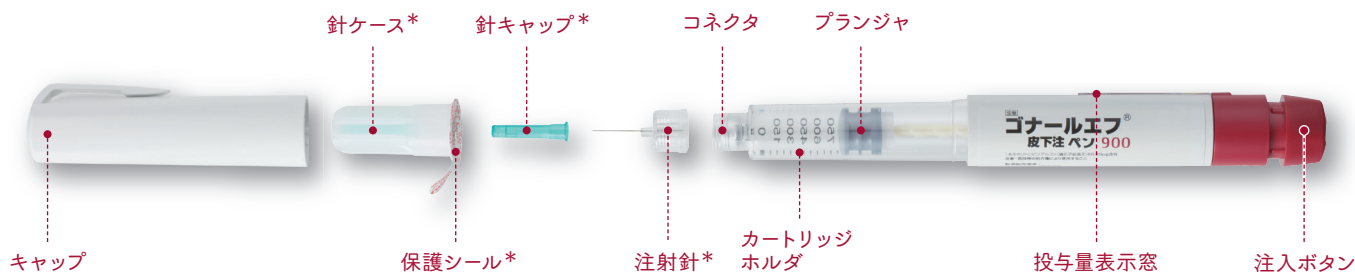
視聴により発生する通信料は、視聴者様のご負担となります。

GONALEF®
FOLLITROPIN ALFA

MERCK

各部の名称

(*)これらはゴナールエフ®皮下注ペンには付属していません。



⇒ ゴナールエフ®皮下注ペンの準備 ⇐

注射の準備を行う前に必ず手を洗ってください。手やご使用になる器具を清潔にしておくことが重要です。

1 本体のキャップをはずす



- ・投与量表示窓が「0」に設定されていることを確認してください。
- ・ゴナールエフ®皮下注ペンに異常がないか確認してください。
- ・ゴナールエフ®皮下注ペンの本体に貼付されているラベルが主治医から指示された種類と同一であることを確認してください。

2 ゴム栓を消毒する



コネクタの先端のゴム栓を消毒用アルコール綿で丁寧に拭いてください。

※コネクタのネジ山にアルコール消毒液が残ったまま注射針を装着すると、注射後、針を外す際に取れなくなることがあるので、右上の写真のように全体を包んで擦らないでください。

❗ ●外箱、ラベルに記載された使用期限を過ぎたものは使用しないでください。●薬液に濁りや着色がある場合は使用せず、主治医に連絡し、指示を仰いでください。●使用できないゴナールエフ®皮下注ペンは、主治医の指示に従って廃棄してください。

⇒ 注射の手順 ⇐

注射針の取り付け

1 保護シールを剥がす



針ケースが破損していたり、使用期限が切れていた場合や、保護シールが破れたり、緩んでいた場合は、感染を起こす可能性があるため使用できませんので、新しいものに取り替えてください。

2 針を取り付ける



針ケースをしっかりと持ち、ゴナールエフ®皮下注ペン先端のコネクタを針ケースの中にまっすぐ奥まで押し込んでください。注射針を時計回りに軽く抵抗を感じるまで回して、まっすぐに注射針を取り付けます。

❗ ●注射のたびに新しい注射針をご使用ください。●注射針の再使用はできません。●針を取り付けずに注入ボタンを押さないでください。●強く回しすぎると、注射針がはずれにくくなります。●針ケースの回転が止まるまで指先で軽く締めるだけで取り付けることができます。●使用しなかった針についても、安全な容器(注射針廃棄容器など)に入れて廃棄してください。

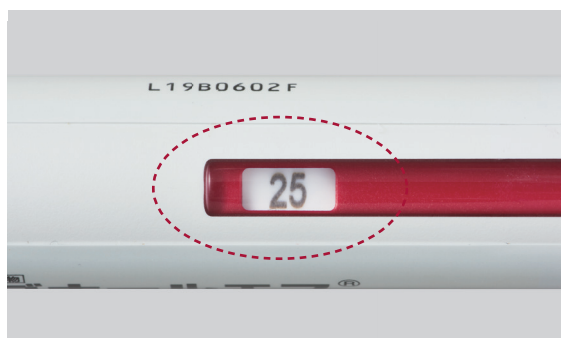


初回使用時に大きな気泡がある場合のみ
空気抜きを行ってください。
中に大きな気泡がない場合はすぐに注射できる
状態ですので、空気抜きをする必要はありません。

2回目以降の注射では空気抜きをせず、
次の〈注射の手順〉投与量の設定に進んでください。

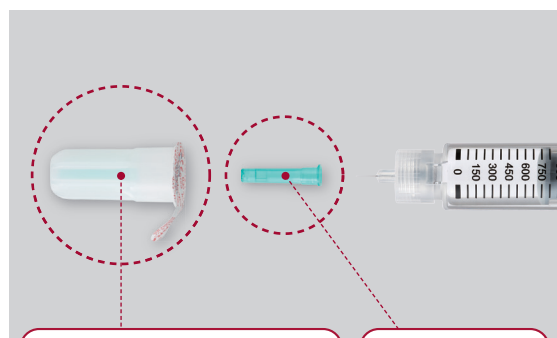
⇒ 空気抜き ⇐

1 単位を25に設定する



注入ボタンを時計回りに回し、投与量表示窓の数字
を25の表示に合わせます。回しすぎてしまった場合
には、逆に回して正しい値に合わせてください。

2 針ケースと針キャップを取りはずし、 針の状態を確認する



針ケースは注射針を取り
外す時にも使用しますので
捨てないでください。

針キャップは
そのまま廃棄
してください。

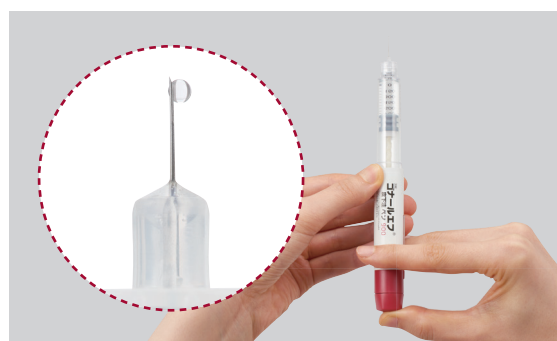
⚠ 針キャップを注射針に再装着しないでください。
注射針で指先を刺して怪我をしたり、感染の
おそれがあります。
空気抜きを行う前に注射針が正しく取り付けら
れていることを確認してください。

3 気泡を集める



注射針を上に向けて、カートリッジホルダを軽く指
ではじいて気泡を上部に集めます。

4 空気を抜く

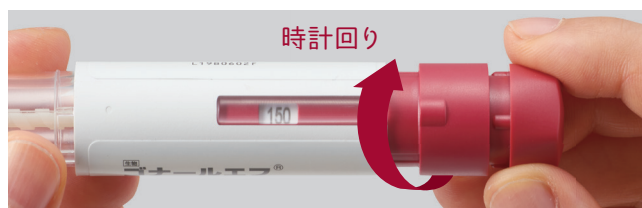


注射針を上に向けたまま、注入ボタンを完全に
押し込み投与量表示窓が0の表示になっているこ
とを確認します。
針先から薬液のしずくが出てきたら空気抜きの
完了です。

⚠ カートリッジホルダ内に大きな気泡が残っ
ている場合は上記①から④の操作を繰り返します。
空気抜きが上手く行えない場合は、主治医にお
問い合わせください。

投与量の設定

1 投与量を設定・確認する

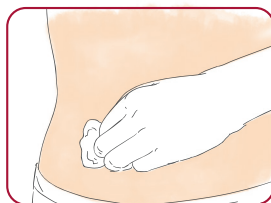


投与量表示窓の数字を主治医から指示された投与量になるよう、注入ボタンを時計回りに回して合わせます。もし回しすぎた場合には、逆に回して正しい値に合わせてください。

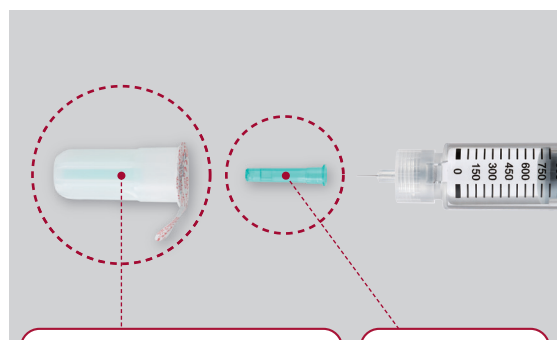
! 誤った投与量を注射した場合、効果や副作用の発現に影響が出る可能性があります。

2 注射部位を消毒する

主治医から指示された注射部位をアルコール綿で消毒し乾かしてください。消毒した部分に触れないよう清潔に保ってください。



3 針ケースと針キャップを取りはずす



針ケースは注射針を取り外す時にも使用しますので捨てないでください。

針キャップはそのまま廃棄してください。

! 針キャップを注射針に再装着しないでください。注射針で指先を刺して怪我をしたり、感染のおそれがあります。

! 次の手順に進む前に、主治医から指示された単位に設定できているか確認してください。

皮下注射をする

! 針キャップが取りはずされていることを確認してください。

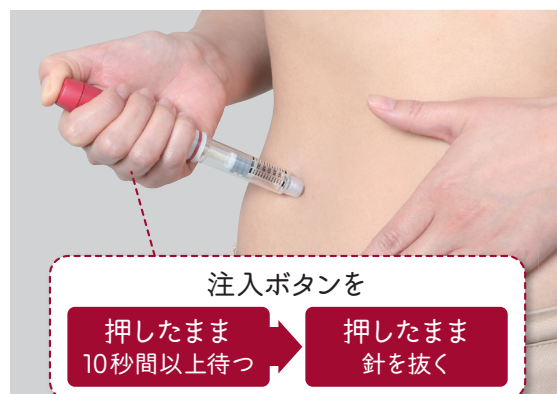
1 針を刺し注入ボタンを押す



針キャップが取り外されていることを確認した後、表示されている数字が見えるよう、投与量表示窓を上に向けます。注射針を皮膚に垂直(90度の角度)でゆっくりと刺し、親指を注入ボタンの真中に置きまっすぐに最後まで完全に押し込みます。注射針を斜めに刺すと注射針が曲がったり、注入ボタンを最後まで押せなくなってしまう可能性があります。

最後まで完全に押し込むと、**投与量表示窓の数字が0になり**、設定した投与量が正しく注射できたことが確認できます。

2 押したまま針を抜く



投与量分の薬液をきちんと注射するために注入ボタンをしっかりと押したまま10秒以上待ちます。注入ボタンを押したまま針を抜き、消毒用アルコール綿で注射部位を軽く押さえてください。

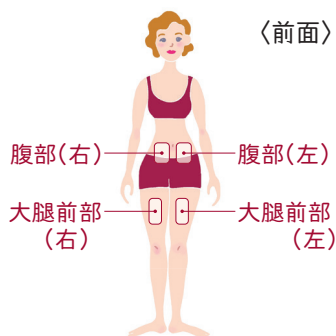
! 注入ボタンを押している親指の力を緩めるとカートリッジホルダ内に血液が混入する事があります。その場合、次に注射する際には新しいものに交換してください。

注射部位例

1回ごとに注射部位を変えてください。注射部位については、主治医の指示に従ってください。

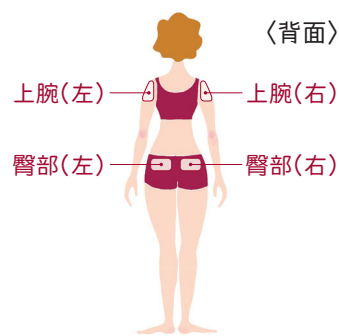
自分で注射する場合

皮下注射に適した部位は前面図の通りです。1回ごとに注射部位を変えてください。連続して同じ部位に注射しないでください。



家族に注射してもらう場合

左の前面図の部位に加え、背面図の4カ所にも皮下注射ができます。



⇒ 注射が終わったら ⇐

1 針ケースを取り付ける



カートリッジホルダをしっかりと持ち、針ケースを真っ直ぐに取り付けます。注射針で指を刺さないよう注意してください。

2 針を取りはずす



針ケースを反時計回りに回し、注射針を取り外します。

3 針を廃棄する



使用済の注射針は、主治医の指示に従って安全な容器(注射針廃棄容器など)に入れて廃棄してください。使用済の注射針を再度使用したり、他の人と共用しないでください。

4 本体のキャップをしめる



ゴナールエフ[®]皮下注ペンにキャップをしてください。また、薬液がなくなったゴナールエフ[®]皮下注ペンは、主治医の指示に従って廃棄してください。

Q&A 〈よくあるご質問〉

Q1

今日空気抜きを行い、薬液が排出されたことを確認し、注射しましたが、気泡があることに気づきました。明日、注射をする前に空気抜きをした方がよいですか？

A1

必要ありません。空気抜きは2回目以降の注射では行いません。ゴナールエフ[®]皮下注ペンの構造上、小さな気泡は完全に除くことはできません。気泡は、注射の際に針を下に向けると反対側に移動するため、投与量には影響ありません。

Q2

自分で腹部右に皮下注射をしました。毎回同じ場所に注射してもよいですか？

A2

注射部位については、主治医の指示に従ってください。
P4注射部位例に、皮下注射に適した部位が示されています。1回ごとに注射部位を変え、連続して同じ部位に注射しないでください。

Q3

ゴナールエフ[®]皮下注ペン300を使用しています。150単位を2回打っても、薬液が少し残っています。まだ、使えますか？

A3

使用できません。
ゴナールエフ[®]皮下注ペンの薬液を完全に使い切った状態でも、少量の薬液がカートリッジホルダ先端に残存するような構造になっています。指定の単位を打ち終わったら新しいゴナールエフ[®]皮下注ペンをお使いください。

Q4

完全に注入ボタンを押したのですが、投与量表示窓の数字が0になりません。

A4

注射した後に投与量表示窓に表示される数字が0より大きい場合には残量が不足しており設定した投与量の全量が注射できなかったことを示しています。投与量表示窓に表示される数字が不足量です。

- ①新しいゴナールエフ[®]皮下注ペンを使って不足量を注射してください。
- ②針がつまっている、または曲がっている可能性があります。新しい注射針を取り付けて再度注射してください。

Q5

ゴナールエフ[®]皮下注ペンの残量が投与量に満たない場合はどうしたらよいですか？

A5

主治医の指示に従い、次のどちらかの方法で正しい量を注射してください。

- ①残量が投与量に満たないゴナールエフ[®]皮下注ペンは使用せずに廃棄します。新しいゴナールエフ[®]皮下注ペンで指示された量を注射します。
 - ②ゴナールエフ[®]皮下注ペンの残量を注射します。すぐに新しいゴナールエフ[®]皮下注ペンと、新しい注射針を使い、手順に従って不足量を注射します。
- ※カートリッジホルダの目盛りは、カートリッジホルダ内の薬液の残りを示しますが、投与量をはかる目的では使用しないでください。必ず投与量表示窓に表示される数字で、投与量を確認してください。

Q6

注入ボタンが最後まで押し込めず、投与量表示窓の数字も途中で止まっています。計算上、まだ使用可能な薬剤の残量があります。

A6

注入ボタンがまっすぐに押し込めていなかった可能性があります。次のステップを実施してください。

1. 投与量表示窓に、投与されなかった用量が表示されていることを確認し、表示された用量(残余量)を記録します。このとき、注入ボタンを回さず、現在の表示用量のまま保持してください。
2. すぐに使用済みの針を取り外して新しい注射針を取り付けてください。
3. 新たな注射部位を決め再度注射してください。その際に、注入ボタンの真ん中に親指を置き、まっすぐ押し込んでください。

1～3のステップを実施しても途中で止まってしまう場合は、その製品は使用せず、主治医にご連絡ください。

ゴナールエフ®皮下注ペンの取扱と注射チェックリスト

- 準備** check ☐ キャップをはずし、コネクタ先端のゴム栓を消毒します。
-
- 注射** check ☐ 新しい針を取付けます。(時計回りに回します。)
-
- check ☐ 初回使用時に大きな気泡がある場合のみ空気抜きを行ってください。
(2回目以降の注射では行いません。)
-
- check ☐ 注入ボタンを回し、投与量を設定します。
-
- check ☐ 注射部位をアルコール綿で消毒します。
-
- check ☐ 針キャップをはずし、針を皮膚に刺します。
-
- check ☐ 注入ボタンを最後まで完全に押し込み、押したまま10秒以上待ちます。
-
- check ☐ 注入ボタンをしっかりと押したまま、ゆっくりと針を抜いてください。
-
- 注射が
終わったら** check ☐ 投与が終わったら針をはずして廃棄します。
本体キャップをしめ、使用開始前と同様に冷蔵庫の中で保管してください。

➡ ご自宅での保管について ⬅

- 使用開始前のゴナールエフ®皮下注ペンは、光が当たらないよう冷蔵庫の中などで2℃～8℃で保管してください。ただし、薬液を凍結させないでください。なお、使用期限内であれば、25℃以下で光が当たらない場所に3ヶ月間は保管する事ができます。
- 保管する際は必ず注射針を外してください。外さずに保管すると、温度変化などにより針先から薬液が漏れたり、カートリッジホルダ内に気泡ができることがあります。針づまりや感染の原因となる恐れもあります。また、感染予防のため、ゴナールエフ®皮下注ペンのキャップを再装着して保管してください。
- 使用開始後は、使用開始前と同様に冷蔵庫の中で保管し、28日以内にご使用ください。

※ゴナールエフ®皮下注ペンはお子さんの手の届かないところに保管してください。
※ご不明点がある場合は、主治医にお問い合わせください。

🎀ゴナールエフ®皮下注ペンの操作に関するお問い合わせ🎀

ゴナールエフ®ペイシェントサポートセンター

フリーダイヤル **0120-576-426**

●受付時間 7:00～23:00 / 365日

MERCK

メルクバイオフーマ株式会社 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー

URL <https://www.merckgroup.com/jp-ja>

JP-GON-00244
2021年11月作成